



- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

芸術鑑賞教室

10月2日(木)に芸術鑑賞教室を実施しました。今年度はいわてフィル弦楽アンサンブルの6名の方々に演奏していただきました。昨年度も感じたのですが、こんなに近くでプロの演奏家の方々の演奏を聴くことができるのは一本木ならではの貴重な経験です。子ども達は演奏を聴くときには静かに味わいながら聴き、体を動かすときは動かし、問いかけには元気に答えるなど、よい鑑賞態度でした。「聴き方がよくて気持ちよく演奏できました。」とお褒めの言葉をいただきました。

演目は、ジュピターやハウルの動く城の楽曲等子ども達にもなじみ深い曲の演奏に加え、イントロクイズ、指揮者体験、演奏に合わせて校歌の斉唱と盛りだくさんでした。1時間弱の演奏会でしたが、子ども達は弦楽器の音色の美しさを味わいながら鑑賞しました。



いわてフィル弦楽
アンサンブルの方々



演奏を楽しそうに聴く子ども達の
表情が印象的でした。



指揮者体験。

6年田中陽さん、蓬田陽葵さん、小山田
結太さんが挑戦しました。



プロの方々の演奏、内村教諭
の指揮で、校歌を歌いました。

明るい選挙啓発授業を実施しました

10月8日(水)に明るい選挙啓発授業を実施しました。対象は6年生です。これは、社会科の学習で憲法や政治について学習した子ども達が、さらに政治や選挙等に興味をもち、将来の投票行動につなげることを目的として実施しました。滝沢市選挙管理委員会の方々にお越しいただき、「選挙の制度と意義」、「投票率」、「投票体験」の3つの柱で学習を進めていただきました。

まず、選挙は自分達の思いや願いを国や自治体に届けてくれる自分達の



代表を選ぶ大切なものであることと、現在選挙時の投票率は50%を少し超える程度で決して高くはないことなどを学習しました。

次に投票体験をしました。模擬投票会場の受付で、予め渡された投票所入場券を提示し、投票用紙を受け取りました。記載台で投票用紙に記入した後、一人ひとり投票箱に投票しました。選挙で実際に使用している記載台や投票箱を使った模擬投票体験を通して、子ども達は社会科で学習したこと以外に、感じたり考えたりすることができたと学習をふり返っていました。



受付で投票所入場券を提示し、投票用紙を受け取る子ども達。

記載台で投票用紙に記入する子ども達。



投票箱に投票する子ども達。折らないで広げた状態で入れるそうです。

投票箱のカギを開け、開票作業をする代表の子



里山研究会研究林訪問

10月24日（金）に、1年生が生活科の学習「きせつとなかよし あき」で、里山研究会の研究林を訪れました。一本木保育園の年長児と、柳沢小学校1・2年生も一緒に学習です。他校の児童や保育園児との交流は貴重な機会です。森林インストラクターの近藤修三様をはじめ、里山研究会の7名の皆様に指導していただきながら、一本木の秋を満喫する活動を実施しました。

熊の出没が心配されましたが、里山研究会の皆様に万全の熊対策をしていただいた上で、園児・児童の引率9名、研究会の皆様8名、合計17名の大人で29名の園児・児童を見守りながら活動することができました。

子ども達は、きのこ体操でアイスブレイクをしたあと、焼き芋の準備、研究林の探索、お面づくり、焼き芋の試食と、元気いっぱい・笑顔いっぱいで活動しました。研究会の皆様には、散策や焼き芋のお世話、お面づくりの指導だけにとどまらず、移動の際の引率、研究林の警備や子どもの見守りと万全の熊対策もしていただきました。おかげさまで充実した活動を実施することができました。研究会の皆様本当にありがとうございました。

